

2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年10月31日

上場会社名 株式会社ユタカ技研 上場取引所 東
 コード番号 7229 URL <https://www.yutakagiken.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 青島 隆男
 問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 清水 克訓 (TEL) 053-433-4111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	108,897	15.2	1,071	△68.0	2,448	△34.2	770	△57.3	541	△51.7	6,082	229.0
2022年3月期第2四半期	94,547	10.2	3,344	165.9	3,720	335.7	1,803	—	1,120	—	1,848	—
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2023年3月期第2四半期	36.50				—							
2022年3月期第2四半期	75.61				—							

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	196,352	99,684	88,628	45.1	5,981.05
2022年3月期	208,334	94,974	83,808	40.2	5,655.74

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	36.00	—	40.00	76.00
2023年3月期	—	36.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	40.00	76.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	12.5	5,500	△37.9	5,800	△49.0	2,300	△66.6	1,400	△68.6	94.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期2Q	14,820,000株	2022年3月期	14,820,000株
2023年3月期2Q	1,824株	2022年3月期	1,824株
2023年3月期2Q	14,818,176株	2022年3月期2Q	14,818,176株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 剰余金の配当（中間配当）および配当予想の修正	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、国内では、資源価格上昇や日米金利差拡大を受けた円安によって物価上昇圧力が高まりましたが、段階的な新型コロナウイルス感染症に対する活動制限緩和政策もあり個人消費を中心に持ち直し基調となりました。また自動車販売台数は、半導体不足の緩和や部品供給体制の改善、豊富な受注等により各完成車メーカーは前期比増となりました。

一方海外では、米国のインフレ圧力が顕在化しましたが、良好な雇用・所得環境や企業収益などに支えられ、自動車販売台数においては前年同期と同水準まで回復しております。また中国では新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う上海ロックダウン及び電力不足等により経済の持ち直しに足踏みがみられ、自動車販売台数は前年同期比減少で推移しました。

世界経済は、長期化するロシアのウクライナ侵攻による物価高騰と各国の金融の引き締めによる景気の下振れが懸念されており、先行きは不透明な状況です。

この様な環境の中、当社グループは、円安効果はあったものの半導体供給不足や新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う上海ロックダウンによる顧客からの受注減に加え、原材料や輸送費等の高騰により売上収益は、1,088億9千7百万円(前年同期比15.2%増)、営業利益10億7千1百万円(前年同期比68.0%減)、税引前四半期利益24億4千8百万円(前年同期比34.2%減)、四半期利益7億7千万円(前年同期比57.3%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益5億4千1百万円(前年同期比51.7%減)となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(日本)

円安効果はあったものの、半導体供給不足による受注減に加え、原材料や輸送費等の高騰により、売上収益174億6千3百万円(前年同期比6.0%減)、営業損失10億5千8百万円(前年同期は営業損失8億8千7百万円)となりました。

(北米)

売上収益は半導体供給不足による受注減はあったものの、主に為替変動により増加、利益面においては、受注減影響に加えて原材料や輸送費等の高騰により、売上収益259億2千5百万円(前年同期比76.8%増)、営業損失19億3千3百万円(前年同期は営業損失7億3千6百万円)となりました。

(アジア)

売上収益は受注増や円安効果により増加、利益面においては、原材料や輸送費等の高騰により、売上収益125億7千5百万円(前年同期比16.2%増)、営業利益2億6千1百万円(前年同期比46.7%減)となりました。

(中国)

売上収益は半導体供給不足による受注減はあったものの、主に為替変動により増加、利益面においては、受注減影響に加えて原材料や輸送費等の高騰により、売上収益593億2千3百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益32億8千5百万円(前年同期比20.9%減)となりました。

(その他)

ブラジルの利益体質改善はあったものの、イギリスの工場閉鎖に伴う売上収益の減少により、売上収益は5億9千1百万円(前年同期比77.0%減)、営業利益1億1千2百万円(前年同期比28.0%減)となりました。

(注) 上記に記載しているセグメント別の売上収益は、外部顧客への売上収益とセグメント間の内部売上収益の合計であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、主に棚卸資産の増加はありましたが、現金及び現金同等物や営業債権及びその他の債権の減少により、前連結会計年度末に比べ119億8千1百万円減少し、1,963億5千2百万円となりました。

負債につきましては、主に営業債務及びその他の債務や借入金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ166億9千1百万円減少し、966億6千9百万円となりました。

資本につきましては、主にその他の資本の構成要素が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ47億1千万円増加し、996億8千4百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は291億9千1百万円(前連結会計年度末比27.5%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は2億1千4百万円(前年同期は68億6千6百万円の使用)となりました。これは主に営業債権及びその他の債権の減少や減価償却費及び償却費による収入がありましたが、営業債務及びその他の債務の減少や法人所得税等の支払額等が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12億3千3百万円(前年同期比50.7%減)となりました。これは主に新機種投資に伴う有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は91億3千8百万円(前年同期は35億4千8百万円の使用)となりました。これは主に配当金の支払や借入金の純減額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

円安効果はあるものの、半導体供給不足や上海ロックダウンに伴う顧客からの受注減に加え、原材料や輸送費等の高騰や減産に伴う固定費負担増等により、前回予想値を下回る見込みであります。

この様な状況を踏まえ2022年5月12日に公表いたしました通期業績予想を以下のとおり修正いたします。

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	273,000	9,900	9,600	6,500	5,200	350.92
今回修正予想 (B)	240,000	5,500	5,800	2,300	1,400	94.48
増減額(B-A)	△33,000	△4,400	△3,800	△4,200	△3,800	
増減率 (%)	△12.1	△44.4	△39.6	△64.6	△73.1	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	213,395	8,853	11,365	6,879	4,466	301.35

なお、第3四半期連結会計期間以降の想定為替レートは1米ドル135円としております。

(4) 剰余金の配当（中間配当）および配当予想の修正

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、企業体質の一層の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを勘案し、安定的な配当の継続を業績に応じて行うことを基本方針としています。2023年3月期第2四半期及び通期業績予想等の様々な状況を勘案し、中間配当を直近の配当予想から1株当たり8円減額の36円とすることを決議いたしました。また、期末の配当予想につきましても従来の予想から1株当たり4円減額の40円とする予定です。

剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月12日発表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	36円00銭	44円00銭	36円00銭
配当金総額	533百万円	—	533百万円
効力発生日	2022年12月5日	—	2021年12月3日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間合計
前回予想	44円00銭	44円00銭	88円00銭
今回発表予想	—	40円00銭	76円00銭
当期実績	36円00銭	—	—
前期実績 (2022年3月期)	36円00銭	40円00銭	76円00銭

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	42,073	30,774
営業債権及びその他の債権	72,323	66,361
棚卸資産	32,372	34,793
その他の流動資産	3,820	4,369
流動資産合計	150,588	136,297
非流動資産		
有形固定資産	53,031	54,496
無形資産	663	673
退職給付に係る資産	1,332	1,533
繰延税金資産	1,990	2,566
その他の非流動資産	730	788
非流動資産合計	57,746	60,055
資産合計	208,334	196,352
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	95,279	83,515
借入金	9,787	4,866
未払法人所得税等	1,239	1,198
その他の流動負債	2,603	2,942
流動負債合計	108,907	92,521
非流動負債		
借入金	652	583
退職給付に係る負債	1,607	1,825
繰延税金負債	622	286
その他の非流動負債	1,572	1,453
非流動負債合計	4,453	4,147
負債合計	113,360	96,669
資本		
資本金	1,754	1,754
利益剰余金	78,360	78,308
自己株式	△3	△3
その他の資本の構成要素	3,697	8,569
親会社の所有者に帰属する持分合計	83,808	88,628
非支配持分	11,166	11,055
資本合計	94,974	99,684
負債及び資本合計	208,334	196,352

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	94,547	108,897
売上原価	84,044	100,367
売上総利益	10,503	8,531
販売費及び一般管理費	7,655	7,628
その他の収益	803	297
その他の費用	307	129
営業利益	3,344	1,071
金融収益	430	1,493
金融費用	54	115
税引前四半期利益	3,720	2,448
法人所得税費用	1,916	1,679
四半期利益	1,803	770
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純変動	2	4
純損益に振替えられることのない項目合計	2	4
純損益に振替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	43	5,308
純損益に振替えられることのある項目合計	43	5,308
その他の包括利益(税引後)合計	45	5,312
四半期包括利益	1,848	6,082
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,120	541
非支配持分	683	229
四半期利益	1,803	770
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,165	5,413
非支配持分	683	668
四半期包括利益	1,848	6,082
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	75.61	36.50

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分					その他の 資本の 構成要素 その他の包括利益 を通じて公正価値 で測定する金融 資産の純変動
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
2021年4月1日残高	1,754	—	75,126	△3	10	
四半期利益			1,120			
その他の包括利益					1	
四半期包括利益	—	—	1,120	—	1	
配当金			△533			
所有者との取引等合計	—	—	△533	—	—	
2021年9月30日残高	1,754	—	75,713	△3	11	

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者 に帰属する 持分合計		
	在外営業 活動体の 換算差額	その他の 資本の構成 要素合計			
2021年4月1日残高	△859	△849	76,028	9,735	85,763
四半期利益		—	1,120	683	1,803
その他の包括利益	44	45	45	0	45
四半期包括利益	44	45	1,165	683	1,848
配当金		—	△533	△97	△631
所有者との取引等合計	—	—	△533	△97	△631
2021年9月30日残高	△815	△804	76,659	10,321	86,981

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分					その他の 資本の 構成要素 その他の包括利益 を通じて公正価値 で測定する金融 資産の純変動
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
2022年4月1日残高	1,754	—	78,360	△3		12
四半期利益			541			
その他の包括利益						2
四半期包括利益	—	—	541	—		2
配当金			△593			
所有者との取引等合計	—	—	△593	—		—
2022年9月30日残高	1,754	—	78,308	△3		14

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者 に帰属する 持分合計		
	在外営業 活動体の 換算差額	その他の 資本の構成 要素合計			
2022年4月1日残高	3,684	3,697	83,808	11,166	94,974
四半期利益		—	541	229	770
その他の包括利益	4,870	4,872	4,872	439	5,312
四半期包括利益	4,870	4,872	5,413	668	6,082
配当金		—	△593	△779	△1,372
所有者との取引等合計	—	—	△593	△779	△1,372
2022年9月30日残高	8,555	8,569	88,628	11,055	99,684

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,720	2,448
減価償却費及び償却費	4,176	4,431
金融収益及び金融費用(△は益)	△88	△140
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	7,149	14,541
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,891	953
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△16,603	△21,919
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△182	167
その他	117	1,808
小計	△3,602	2,289
利息の受取額	141	255
配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△64	△131
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,341	△2,628
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,866	△214
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	668	327
有形固定資産の取得による支出	△3,305	△2,276
有形固定資産の売却による収入	193	811
無形資産の取得による支出	△56	△97
貸付けによる支出	△5	△2
貸付金の回収による収入	3	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,502	△1,233
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,195	△5,622
リース負債の返済による支出	△269	△220
長期借入金の返済による支出	△183	△302
配当金の支出額	△534	△593
非支配持分への配当金の支出額	△1,368	△2,402
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,548	△9,138
現金及び現金同等物に係る換算差額	114	817
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,803	△9,768
現金及び現金同等物の期首残高	32,121	40,249
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△1,290
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,318	29,191

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び当社の子会社においてそれぞれ独立した経営単位であり、取締役会及び取締役会から選定された取締役によって構成される経営会議において、経営の重要事項について審議し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、地域毎に取締役本部長・担当取締役等が任命されており、担当地域の包括的な戦略の立案を統括し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントの主な地域は、以下のとおりです。

報告セグメント		主要な製品及びサービス
日本	日本	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪 汎用部品 その他
北米	米国 メキシコ	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪
アジア	フィリピン インドネシア タイ インド	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品) 自動車部品二輪
中国	中国	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品)
その他	ブラジル	自動車部品四輪(排気系部品、その他)

2. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループの前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間の報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	11,896	14,614	9,689	55,903	2,444	94,547	—	94,547
セグメント間の内部 売上収益	6,672	52	1,128	817	124	8,793	△8,793	—
計	18,568	14,667	10,817	56,720	2,568	103,340	△8,793	94,547
営業利益(△は損失)	△887	△736	490	4,155	156	3,178	166	3,344
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	430
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	54
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	3,720

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。
 2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 3 営業利益(△は損失)の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	11,871	25,700	11,959	58,775	591	108,897	—	108,897
セグメント間の内部 売上収益	5,591	225	616	548	0	6,980	△6,980	—
計	17,463	25,925	12,575	59,323	591	115,877	△6,980	108,897
営業利益(△は損失)	△1,058	△1,933	261	3,285	112	668	402	1,071
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	1,493
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	115
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	2,448

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。
 2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 3 営業利益(△は損失)の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。